

河川用根入れブロック兼用基礎ブロック

eベース



eベースの特長

- 根入れブロックを兼用した基礎ブロックであるため施工期間が大幅に短縮でき、経済的です。
- 水替工が削減でき、完全なドライ施工でなくても据付できます。
- 仮締め切り期間が短く濁水の処理問題を回避し、河川の生態環境のダメージが少なくなります。
- 従来工法に比べて、地盤支持力の大幅な低減が可能です。
- 根入れ深さに応じて、350型はH1000、H700、H500、500型と2割型はH1000、H700を揃えています。

施工手順

2割型

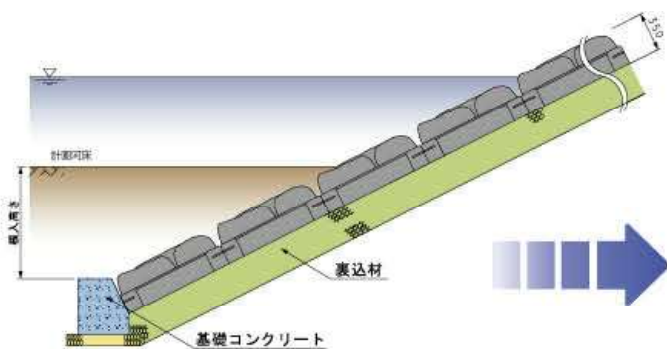


350型

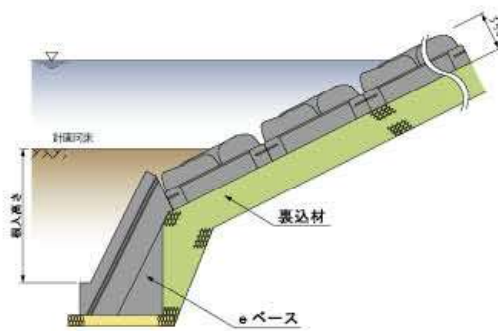


緩勾配基準図面

従来断面図

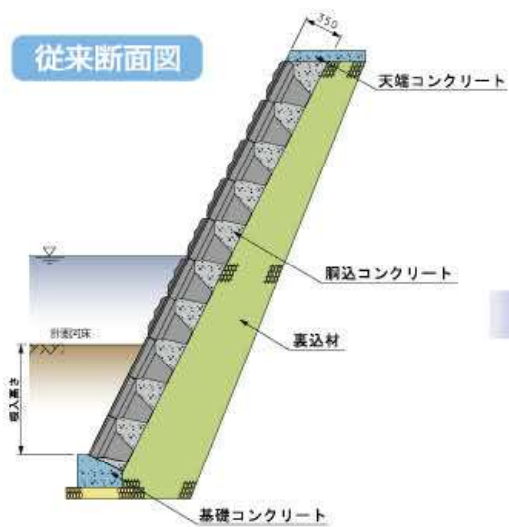


eベース断面図

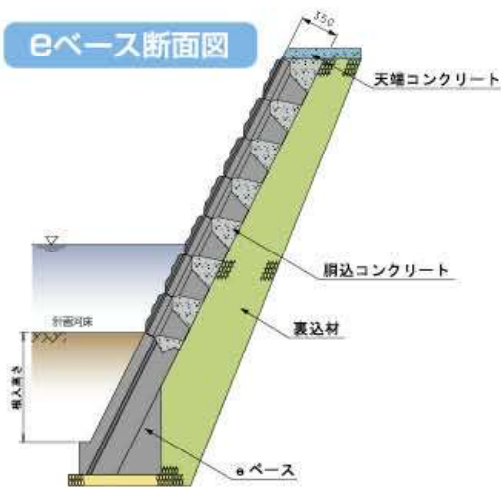


急勾配基準図面

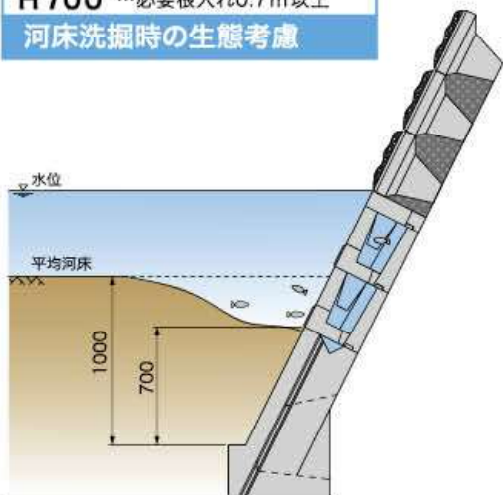
従来断面図



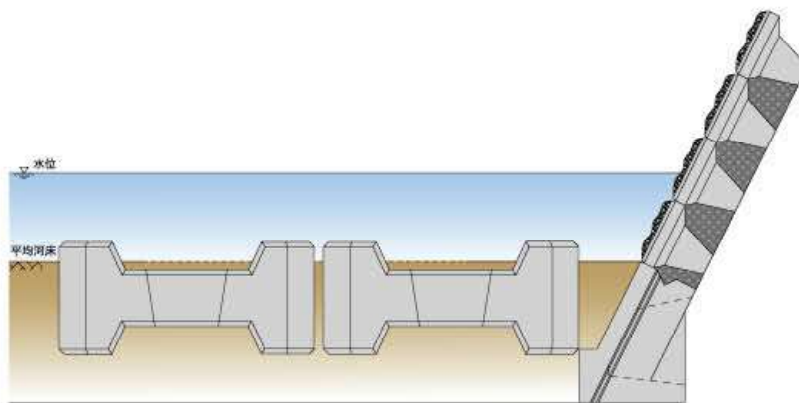
eベース断面図



H700 …必要根入れ0.7m以上
河床洗掘時の生態考慮



H500 …必要根入れ0.5m以上
根固ブロック等使用時



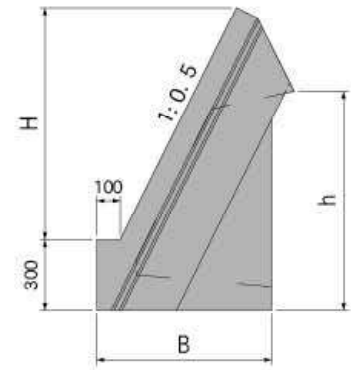
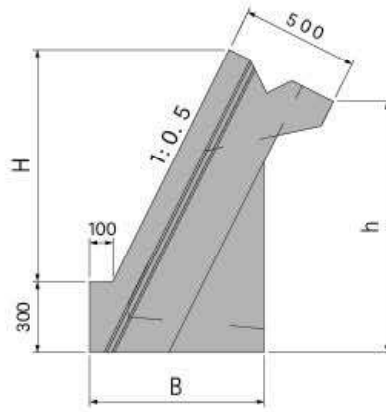
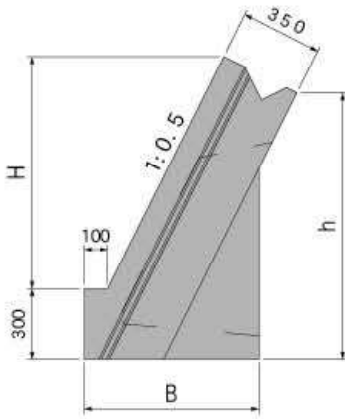
単体図

急・緩勾配対応基礎ブロック (1:0.5~3.0)

350型 (護岸ブロック控え350mm)

500型 (護岸ブロック控え350~500mm)

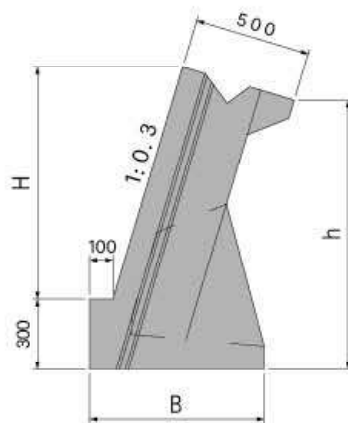
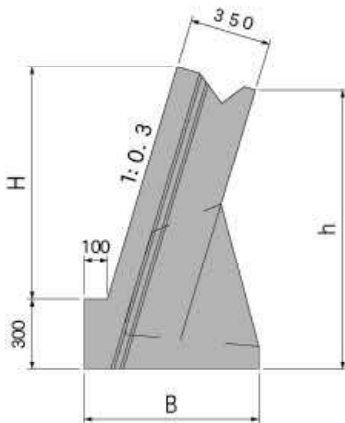
2割型 (護岸張ブロック控え100~350mm)
(護岸張ブロック勾配1:0.8~3.0)



急勾配対応基礎ブロック (1:0.3~0.4)

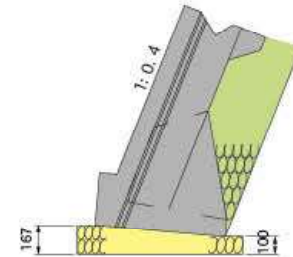
350型 (護岸ブロック控え350mm)

500型 (護岸ブロック控え350~500mm)



4分勾配護岸断面

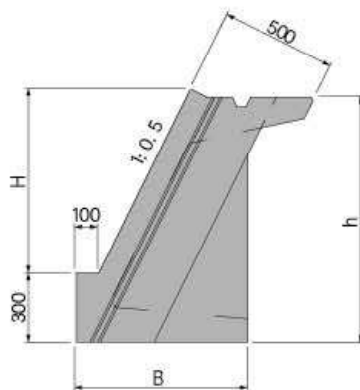
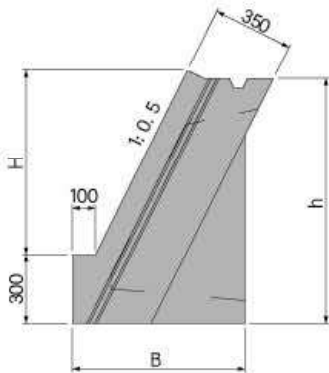
1:0.3製品を使用し、基礎碎石の厚みを変えることで対応できます。



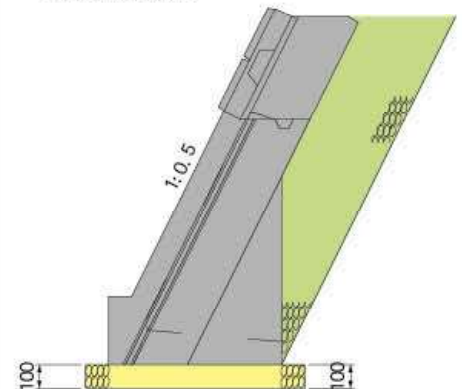
レベル積

350型 (護岸ブロック控え350mm)

500型 (護岸ブロック控え350~500mm)



5分勾配護岸断面



呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)				備考
			H	h	B	L	
350型 (H1000)	1789		1000	1143	750	2000	
500型 (H1000)	1835			1076			
2割型 (H1000)	1729			940			
350型 (H 700)	1400		700	843	600	2000	
500型 (H 700)	1458			776			
2割型 (H 700)	1329			614			
350型 (H 500)	1076		500	643	600	2000	
350型 (H1000)3・4分用	1953		1000	1200	750	2000	
500型 (H1000)3・4分用	1987			1156			
350型 (H 700)3・4分用	1456		700	900	750	2000	
500型 (H 700)3・4分用	1493			856			
350型 (H 800)レベル積	1564		800	1064	750	2000	
500型 (H 800)レベル積	1597						

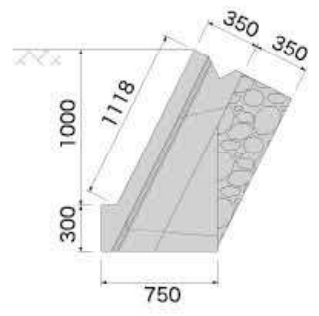
参考歩掛表

100m 当り

eベース (個)	世話役 (人)	特殊作業員 (人)	普通作業員 (人)	クレーン25t (日)	諸雑費 (%)
50.00	1.67	1.67	1.67	1.67	2.00

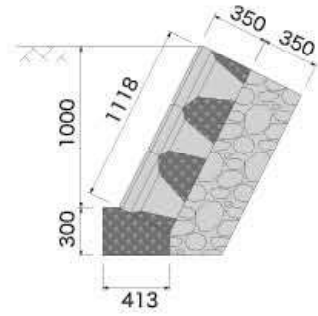
施工日数比較 (100m当り)

eベースH1000



4.23日

現場打基礎 + 積ブロック

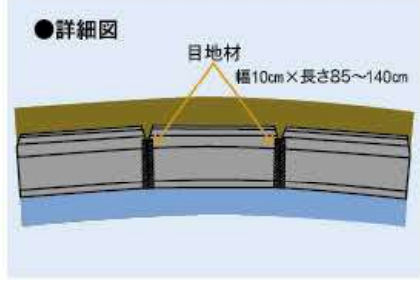
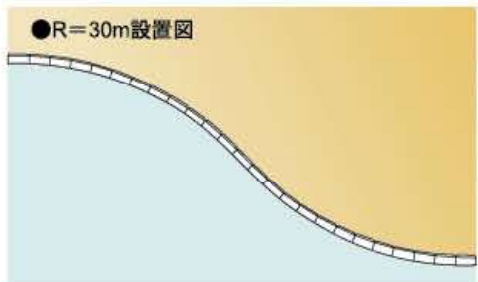


13.93日

-9.7日
大幅短縮

曲線対処方法

対応曲線はR=30mまでとし、曲線部は目地材により碎石の吸出しを防止します。



※裏込材が流出する恐れがある場合は、直線部においても目地材を設置します。